

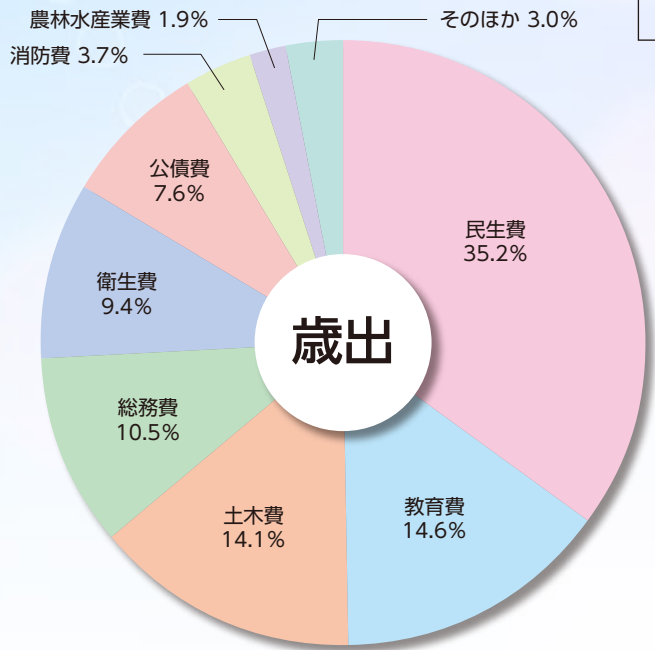
4本柱を重点に、市民生活を向上

市は「若い世代が住みたいと感じる魅力あるまちの創造」を目標として、「高齢者の安心づくり」「子育て世代の安心づくり」「地域・経済の元気づくり」「まちの安全づくり」の4つを重点方針と位置付け、市民生活の向上と市の魅力づくりに取り組みます。

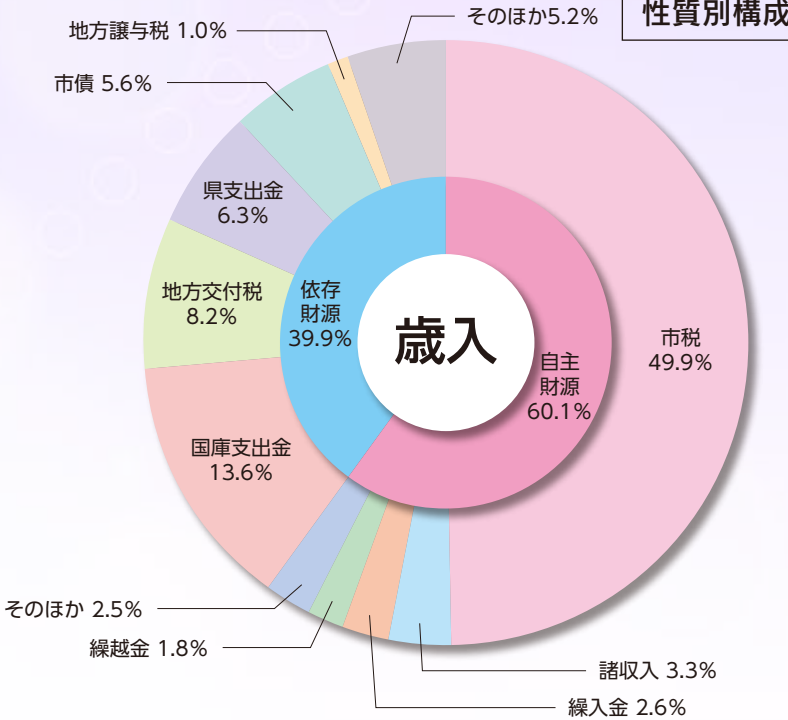
277億2,000万円

一般会計

目的別構成



性質別構成



区 分		26年度	25年度	増減(%)
自主財源	市 税	138億2,000万円	136億4,000万円	1.3
	諸 収 入	9億813万円	7億6,889万円	18.1
	繰 入 金	7億1,059万円	8億2,209万円	△13.6
	繰 越 金	5億円	5億円	0.0
	そ の ほか	7億2,492万円	7億2,762万円	△0.4
	小 計	166億6,364万円	164億5,860万円	1.2
依存財源	国 庫 支 出 金	37億8,247万円	30億7,908万円	22.8
	地 方 交 付 税	22億8,000万円	24億円	△5.0
	県 支 出 金	17億4,440万円	16億3,332万円	6.8
	市 債	15億4,250万円	19億円	△18.8
	地 方 譲 与 税	2億9,000万円	3億円	△3.3
	そ の ほか	14億1,699万円	12億900万円	17.2
小 計		110億5,636万円	105億2,140万円	5.1
合 計		277億2,000万円	269億8,000万円	2.7

自主財源：市税・使用料など市が自主的に収入する財源
依存財源：国や県から配分される財源と借入金
市税：市民税、固定資産税、都市計画税、軽自動車税など
市債：施設の建設や土木工事など、多額の費用を要するとき、また世代間の公平な負担を図るため、費用の一部を金融機関などから借り入れる資金
地方譲与税：国税のうち、一定の基準により国から地方へ譲与するもの

住民生活に密着したメリハリ予算

新年度予算は、四つの重点方針に関連する事業を優先すると同時に、外部資金を積極的に活用するなど、将来世代に過度な負担を掛けないよう健全財政を堅持しています。

歳入は、企業収益の回復傾向の影響や企業誘致の結果、市税の増額を見込んでいます。また、国県支出金やネーミングライツ（命名権）料などの増額の一方で、基金の取り崩しや市債の発行を抑えています。

歳出は、消費税引き上げの影響を緩和するための臨時給付金、介護施設整備補助金、障がい者自立支援費などの民生費が大幅に増えています。土木費は、坂戸市内の運動公園整備事業が昨年度中にほぼ完了したため、大きく減少しました。その他、中学校の空調設備工事、小学校のトイレ改修工事、水道管の耐震補強工事など、住民生活に密着した施設整備などに力を入れています。

急速な少子高齢化や施設の老朽化など、本市を取り巻く財政状況は厳しさを増していますが、「若い世代が住みたいと感じる魅力あるまちの創造」を目指して、「対話と共感による市民中心のまちづくり」を念頭に、効果的・効率的な行政運営を行います。

特別会計・企業会計

区 分	26年度	25年度	増減(%)
国民健康保険事業	111億3,650万円	108億2,650万円	2.9
後期高齢者医療	9億1,900万円	8億2,600万円	11.3
介護保険	57億6,690万円	55億2,120万円	4.5
自家用工業用水道事業	1億5,710万円	1億5,250万円	3.0
公共下水道事業	31億1,100万円	29億8,200万円	4.3
特定環境保全公共下水道事業	2億4,800万円	2億4,500万円	1.2
農業集落排水事業	1億7,200万円	1億7,200万円	0.0
可児駅東土地区画整理事業	850万円	1億3,000万円	△93.5
財産区（5地区の計）	2,110万円	2,020万円	4.5
合 計	215億4,010万円	208億7,540万円	3.2

区 分	26年度	25年度	増減(%)
水道事業	29億7,400万円	29億6,280万円	0.4

予算説明会を開催

市は、現在市が取り組んでいる施策などを市民の皆さんに分かりやすく理解いただけるよう「行政の見える化」に取り組んでいます。これまで各地区での懇談会などを開催してきましたが、平成26年度予算の概要について、市長や市幹部から市民の皆さんに直接説明する機会を設けることとしました。

市は、「若い世代が住みたいと感じるまちの創造」を目標として、各重点事業に取り組んでいます。若い方々をはじめ、多くの皆さんのご来場をお待ちしています。

日 時 4月18日(金)午後7時～9時
場 所 文化創造センター・アーラ
参加費 無料

※無料託児(先着10人)あり。希望者は4月15日(火)までに財政課に申し込む。



高齢者大学での講演の様子

平成26年度予算 4つの重点方針の

主な事業内容

市は、4つの重点方針を昨年度に引き続いて進め、若い世代の人が住みたいと感じる魅力あるまちを創造します。今年度の主な事業を紹介します。

重点方針 3 地域・経済の元気づくり (13億3,552万円)

「可児市」の“顔”づくり

◆美濃桃山陶の聖地調査・保存・PR事業(1,445万円)

県指定史跡大萱古窯跡群の牟田洞古窯跡と窯下古窯跡について、国史跡指定を目指して調査を行います。また、「美濃桃山陶の聖地」として内外に発信します。

◆美濃金山城跡整備事業(776万円)

国史跡指定に伴い、城跡の保存管理や整備活用の構想を含めた計画を策定します。眺望に配慮し、不要な樹木の伐採などを行うとともに、美濃金山城跡を中心とした文化財などの整備・活用を検討します。

躍進する経済づくり

◆市道56号線(二野大森線)改良事業(4億1,900万円)

二野から大森を結ぶ道路整備を進め、二野工業団地へのアクセスを強化して企業立地に資するとともに、広域交通の利便性の向上を図ります。

元気な地域社会づくり

◆新たなエネルギー社会づくり事業(1億77万円)

可児市再生可能エネルギー戦略に基づき、産学官の連携による新たな産業を創出することで、地域の活力を生かしたまちづくりを推進します。



牟田洞古窯跡



北からの美濃金山城跡

重点方針 4 “まち”の安全づくり (41億187万円)

災害に強い安全な“まち”づくり

◆雨水対策事業(公共下水道事業特別会計)(9,940万円)

集中豪雨による浸水被害を軽減し、市民の生命及び財産を守るため、雨水排水計画に基づき、排水路整備を行います。

◆防災行政無線整備事業(7,500万円)

防災行政無線の老朽化に対応した整備を行います。災害対策本部と避難所、関係機関をデジタルMCA無線で繋ぐことにより、防災情報の共有化や伝達が迅速かつ正確に行うことができるようにします。

安心して住める“まち”づくり

◆ライフライン機能強化等事業(水道事業会計)(1億4,650万円)

耐震性能に劣る配水場・ポンプ場施設について耐震補強を行い、基幹管路(送水管・配水本管)については敷設替を行い耐震化を図ります。これにより巨大地震時でも安定した給水を確保します。

幸せを感じられる“まち”づくり

◆地域福祉推進事業(5,741万円)

地域福祉推進と社会基盤の充実を図るため、地域福祉計画(第2期)により地域福祉の担い手となる団体などが活動するために支援します。



防災行政無線操作卓

重点方針 1 高齢者の安気づくり (67億6,540万円)

生きがい・健康づくり(自助)

◆健康づくり推進事業(361万円)

1回30分週2回のウォーキングをする「歩こう可児302」を市民運動として展開します。

◆成人各種健康診査事業(1億2,447万円)

生活習慣病に着目した特定健診と保健指導の推進により、市民の生涯にわたる健康増進を図るとともに、健康意識の向上を図ります。

安気に暮らせる地域づくり(共助)

◆在宅医療・介護推進事業(74万円)

施設系が中心の医療・介護から、可能な限り、住み慣れた生活の場において必要な医療・介護サービスが受けられ、安心して生活できる「地域包括ケアシステム」の構築に向けた取り組みを進めます。

安心な介護・医療の体制づくり(公助)

◆高齢者福祉施設整備事業(1億5,225万円)

高齢者福祉施設などを整備することにより、介護保険サービスの充実を図り、高齢者やその家族が安心して生活できる環境を創出します。



歩こう可児302の様子

重点方針 2 子育て世代の安心づくり (25億1,039万円)

マイナス10カ月から安心して子育てできる環境づくり

◆母子健康教育事業(629万円)

子どもを妊娠した時を子育ての起点と捉え、母子健康手帳の交付時に、親となる心構えの啓発や子育て支援に関する情報を提供するなど、子育てへの不安を解消するよう取り組むとともに、子育て家庭とのつながりを効果的に構築します。

子どもに寄り添い個々の力を伸ばす義務教育のまちづくり

◆子どものいじめ防止事業(1,109万円)

専門委員会で相談や通報を受けるほか、フリーダイヤルやインターネット相談など、相談ツールを拡げます。

◆可児市学校教育力向上事業(3,236万円)

スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを配置し、問題の解決に向けて児童生徒や保護者、学校職員へアドバイスなどを行います。小学校に上がった児童が学校生活に対応できないなどの問題に対応するためのカリキュラムを作成・実践し、子どもの育ちや学びの連続性を確保します。

子育て世代の元気・活力づくり

◆リフレッシュルート推進事業(349万円)

市内の名所・旧跡や四季折々の風光明媚な風景など多彩なスポットを結ぶルートを設定し、いろいろな目的で楽しんでいただけるよう、周知を行うとともに、必要な整備を行います。

◆駅前子育て等空間創出事業(1,455万円)

可児駅前の公共用地に“子育て・健康・賑わい”をテーマに、市の子育て支援を総合的に推進する機能を中核とした空間を創出するため、市民の意見を聞きながら、施設の基本設計などを行います。



リフレッシュルート